

2月6日 ■ シンポジウム

動物を狩る

【基調講演】

動物の贈り物としての狩猟—カナダ先住民カスカの事例から

講師：山口 未花子さん（岐阜大学地域科学部助教）

【事例報告】

「かつてトリはとって食うものだった」 講師：原田 望さん（伊那史学会主幹）

平成28年2月6日（土）

午後1時30分～4時30分

会場：飯田市美術博物館 講堂

聴講無料・申込み不要



【内容】

山口さんはカナダ狩猟民族カスカの村に住み込んで、狩猟を経験しながら学んだ実践派の文化人類学者です。狩りを軸にして動物と人間との関係についてお話しいたします。

その後、伊那谷でおこなわれてきた鳥猟などについて、原田さんに報告していただきます。

「狩りを通して見つめる生と死、命をいただき育む地域の暮らし、二極化する動物観」などについて、考える機会にしたいと思います。

【プログラム】

13:30～15:00 基調講演 山口 未花子さん（岐阜大学地域科学部助教）

<休憩>

15:15～15:45 事例報告 原田 望さん（伊那史学会主幹）

15:45～16:15 会場を交えての質疑と意見交換



山口未花子さんの著書：
「ヘラジカの贈り物 - 北方
狩猟民族カスカと動物の自
然誌」春風社

お問い合わせ 飯田市美術博物館 〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL：0265-22-8118 FAX：0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>